



## 2020年9月期 決算説明会

シミックホールディングス株式会社

2020年11月12日



# 2020年9月期 決算概要 (2019年10月1日～2020年9月30日)

取締役専務執行役員CFO

望月 渉



## CSO事業

(Contract Sales Organization)

医薬品マーケティング・営業支援

## ヘルスケア事業

(Healthcare)

個人のヘルスバリューを高める事業

# Pharmaceutical Value Creator

製薬企業のストラテジックパートナーへ

## CDMO事業

(Contract Development Manufacturing Organization)

医薬品製剤開発・製造支援

## IPM事業

(Innovative Pharma Model)

プラットフォーム型製薬事業

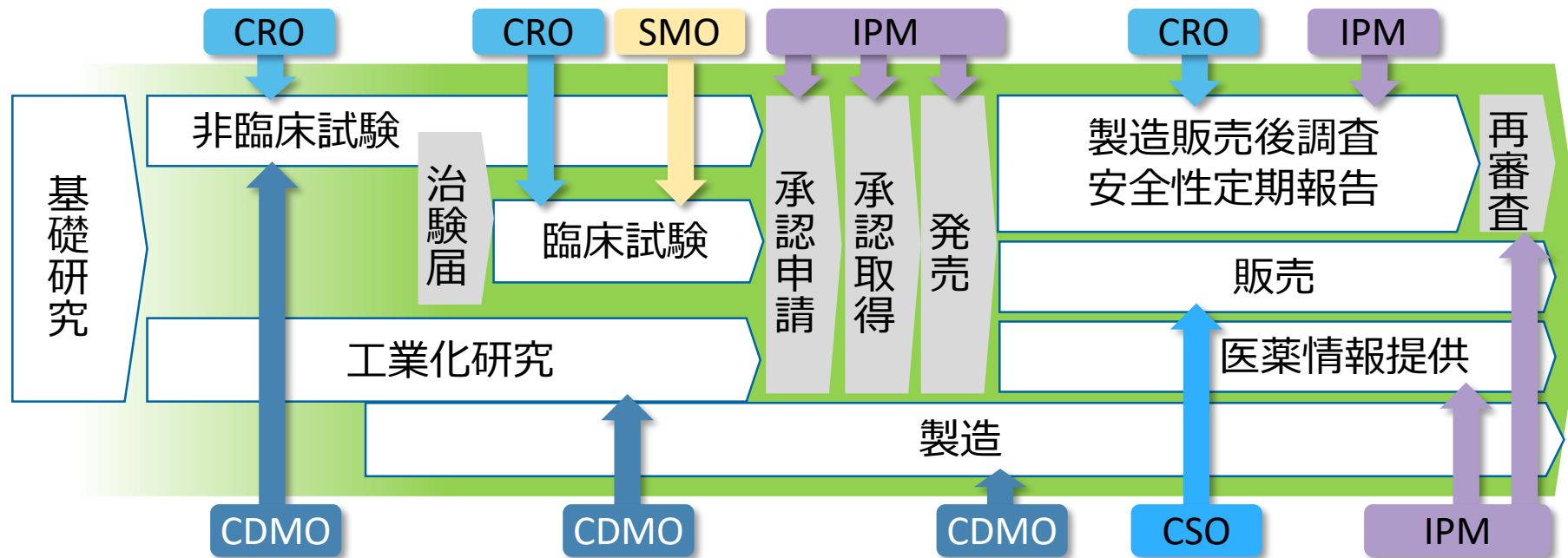
## CRO事業

(Contract Research Organization)

医薬品開発支援



## 製薬企業のバリューチェーンを総合的に支援

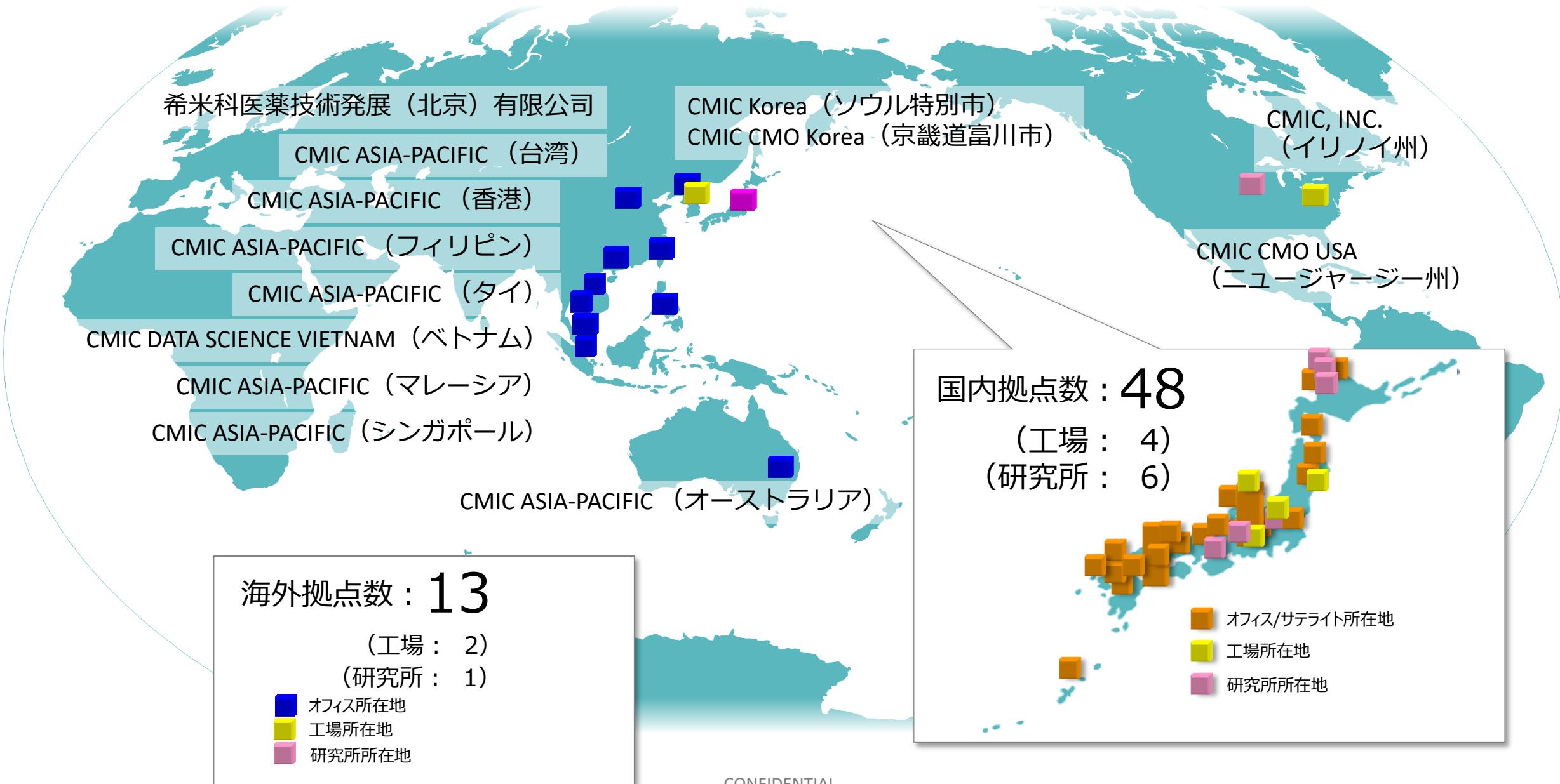


CRO 臨床研究支援事業

IPM プラットフォーム型製薬事業

HC 個人のヘルスバリューを高める事業

# シミックグループのエリア展開



# 事業セグメントとグループ各社

青字表記は海外  
※印は持分法適用会社



セグメント	商品・サービス	シミックグループ各社（2020年9月末時点）
<b>CRO事業</b>	製薬企業の医薬品開発支援、分析化学サービス	シミックホールディングス(株) シミック(株) シミック・シフトゼロ(株) CMIC Korea Co., Ltd. CMIC ASIA-PACIFIC, PTE. LTD. CMIC ASIA PACIFIC (MALAYSIA) SDN. BHD. CMIC Asia-Pacific (Hong Kong) Limited CMIC ASIA-PACIFIC (PHILIPPINES), INC. CMIC ASIA-PACIFIC (AUSTRALIA)PTY LTD CMIC ASIA-PACIFIC (THAI LAND) LIMITED CMIC (Beijing) Co., Ltd. CMIC DATA SCIENCE VIETNAM COMPANY LIMITED シミックファーマサイエンス(株) CMIC, INC.
<b>CDMO事業</b>	製薬企業の医療用医薬品及び一般用医薬品などの製剤化検討から治験薬製造、商用生産まで医薬品製剤開発・製造支援に係る業務	シミックCMO(株) シミックCMO西根(株) CMIC CMO Korea Co., Ltd. CMIC CMO USA Corporation シミックバイオ(株)
<b>CSO事業</b>	製薬企業の医薬品等の営業・マーケティング支援に係る業務	シミック・アッシュフィールド(株) (株)マツキャンエムディエス ※
<b>ヘルスケア事業</b>	SMO（治験施設支援機関）業務、ヘルスケアサービスなど、主に医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進のための支援業務並びにBPO・人材サービスに係る業務	シミックヘルスケア・インスティテュート(株) シミックキャリア(株) シミックウエル(株)
<b>IPM事業</b>	グループが保有する製造販売業等の許認可（知的財産）とバリューチェーンを組み合わせた新たなビジネスソリューションを製薬企業等に提供する事業	シミックホールディングス(株) シミックCMO(株) (株)オーファンパシフィック

# 当期の主な取り組み



## ✓ “中期計画（FY2019-2021）” 重点取組事項の推進

- ◆ PVCモデルに加え、製造販売業の許認可を組み合わせたIPMソリューションビジネスの加速
  - ー海外企業からのニーズの高まり
- ◆ エリア競争力強化とグローバル化促進
  - ーアジア拠点の拡大（タイ）
- ◆ ヘルスケアビジネスの創出
  - ー「harmo」事業
  - ー自己検査サービス「Selcheck」の拡大

## ✓ “Healthcare Revolution 2.0始動（2020年7月～）

- ◆ 医薬品を中心としたビジネスモデルから、新たなヘルスケアビジネスを創出するモデルへの転換
- ◆ 個人の健康維持・健康増進に貢献するビジネスの創出
- ◆ グループ人材のヘルスケア分野への展開を促進

## ✓ 株主優待制度の導入

- ◆ 2020年3月31日時点で当社株式100株（1単元）以上保有の株主様を対象として開始

# 当期の主な取り組み（事業セグメント）



## CRO事業

- ▶ 臨床試験でのharmonyの活用  
Virtual Clinical Trial の促進（MICIN社とバーチャル臨床試験システムの共同開発）  
治療アプリ開発から上市後までの包括的サービス提供（サスメド社とデジタルセラピューティクス開発支援で提携）  
Real World Dataの活用（サスメド社とAIを用いたビッグデータ簡易解析ソリューションの提供開始）
- ▶ 臨床研究、市販後調査の強化

## CDMO事業

- ▶ 足利工場新注射剤棟やUSにおける受注活動促進
- ▶ US生産体制の拡張
- ▶ バイオ医薬品原薬CDMO事業の開始

## CSO事業

- ▶ 高度な専門知識とディテリングスキルを持ったMRの育成
- ▶ メディカルアフェアーズ分野のサービス拡大

## ヘルスケア事業

- ▶ 2020年1月 SMO会社とヘルスケアサービス子会社を合併 臨床試験支援ノウハウと、疾病予防・健康情報やIT技術を融合
- ▶ harmony事業において、協業によりユーザ100万人の電子お薬手帳機能を活用した共通サービスを推進
- ▶ 慶應義塾大学と、harmonyの基盤を活用し適切な予防接種管理の推進を目指す共同研究を開始

## IPM事業

- ▶ IPMプラットフォーム提供による海外製薬企業の日本市場進出支援



# 連結損益計算書（要約）



	2019/9		2020/9		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
売上高	74,373	100.0	<b>76,098</b>	100.0	1,725	+2.3
営業利益	4,405	5.9	<b>2,605</b>	3.4	△1,799	△40.9
経常利益	3,841	5.2	<b>2,867</b>	3.8	△974	△25.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,822	2.5	<b>1,505</b>	2.0	△316	△17.4
1株当たり 当期純利益	98円93銭		<b>83円27銭</b>			

# 営業外損益・特別損益・税金の内訳



(百万円)	2019/9	2020/9
営業外収益内訳	97	555
受取利息	4	4
持分法による投資利益	—	394
その他	92	156
営業外費用内訳	661	293
支払利息	114	123
持分法による投資損失	252	—
為替差損	176	121
その他	117	48

(百万円)	2019/9	2020/9
特別利益内訳	14	103
固定資産売却益	14	7
投資有価証券売却益	—	10
子会社株式売却益	—	30
受取保険金	—	54
特別損失内訳	409	1,013
減損損失	225	736
固定資産除却損	122	142
投資有価証券評価損	—	26
システム解約損	—	108
システム障害対応費用	62	—
税金費用	1,785	792
法人税等	1,949	1,118
法人税等調整額	△163	△325

# セグメント別売上高および営業利益



		2019/9 (百万円)	2020/9 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
C R O 事業	売上高	36,522	<b>34,242</b>	△2,280	△6.2
	営業利益	6,623	<b>5,052</b>	△1,571	△23.7
C D M O 事業	売上高	17,292	<b>20,832</b>	3,539	20.5
	営業利益	116	△412	△529	—
C S O 事業	売上高	7,929	<b>8,626</b>	696	8.8
	営業利益	236	<b>834</b>	598	252.9
ヘルスケア事業	売上高	10,107	<b>9,903</b>	△203	△2.0
	営業利益	1,158	<b>583</b>	△575	△49.7
I P M 事業	売上高	3,368	<b>3,395</b>	27	0.8
	営業利益	△396	<b>169</b>	566	—
調 整 額	売上高	△846	△901	△54	—
	営業利益	△3,332	△3,621	△288	—
合 計	売上高	74,373	<b>76,098</b>	1,725	2.3
	営業利益	4,405	<b>2,605</b>	△1,799	△40.9

当期より報告セグメントの区分を変更。前期の業績及び前期比較は、変更後の報告セグメントの区分のものに組み替えて表示

# 受注高・受注残高



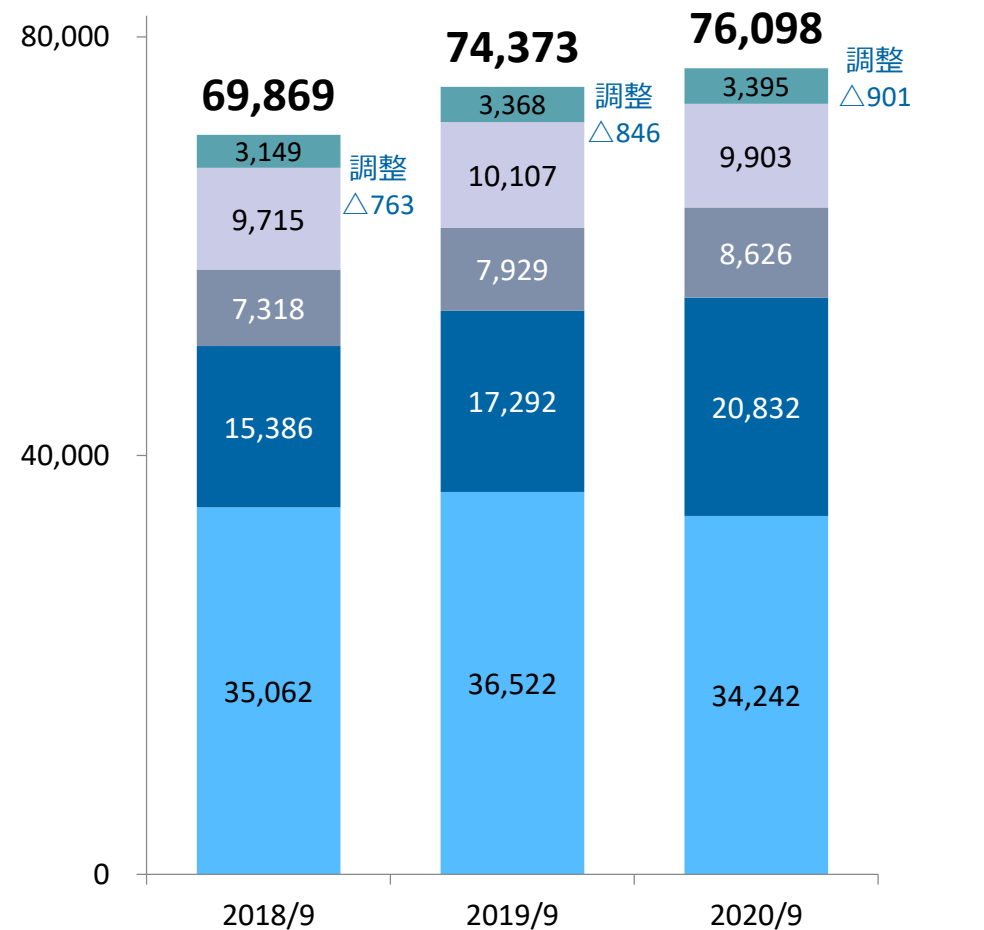
	2019/9		2020/9			
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	増減率 (%)	受注残高 (百万円)	増減率 (%)
C R O 事業	34,408	53,614	<b>36,852</b>	+7.1	<b>56,608</b>	+5.6
C D M O 事業	18,722	5,312	<b>20,855</b>	+11.4	<b>5,412</b>	+1.9
C S O 事業	8,688	4,022	<b>7,736</b>	△11.0	<b>3,132</b>	△22.1
ヘルスケア事業	10,813	11,211	<b>10,125</b>	△6.4	<b>11,873</b>	+5.9
合計	72,633	74,161	<b>75,570</b>	+4.0	<b>77,028</b>	+3.9

- ・CSOの受注高は、前年同期の大型案件獲得の反動による減少
- ・CDMO事業の受注残高は確定注文を受けているもののみ計上。顧客からは年間ベースの発注計画等の提示を受けているが、確定注文とは異なるので受注残高には含めていない
- ・IPM事業は受託事業と業態が異なるため、受注実績から除外している

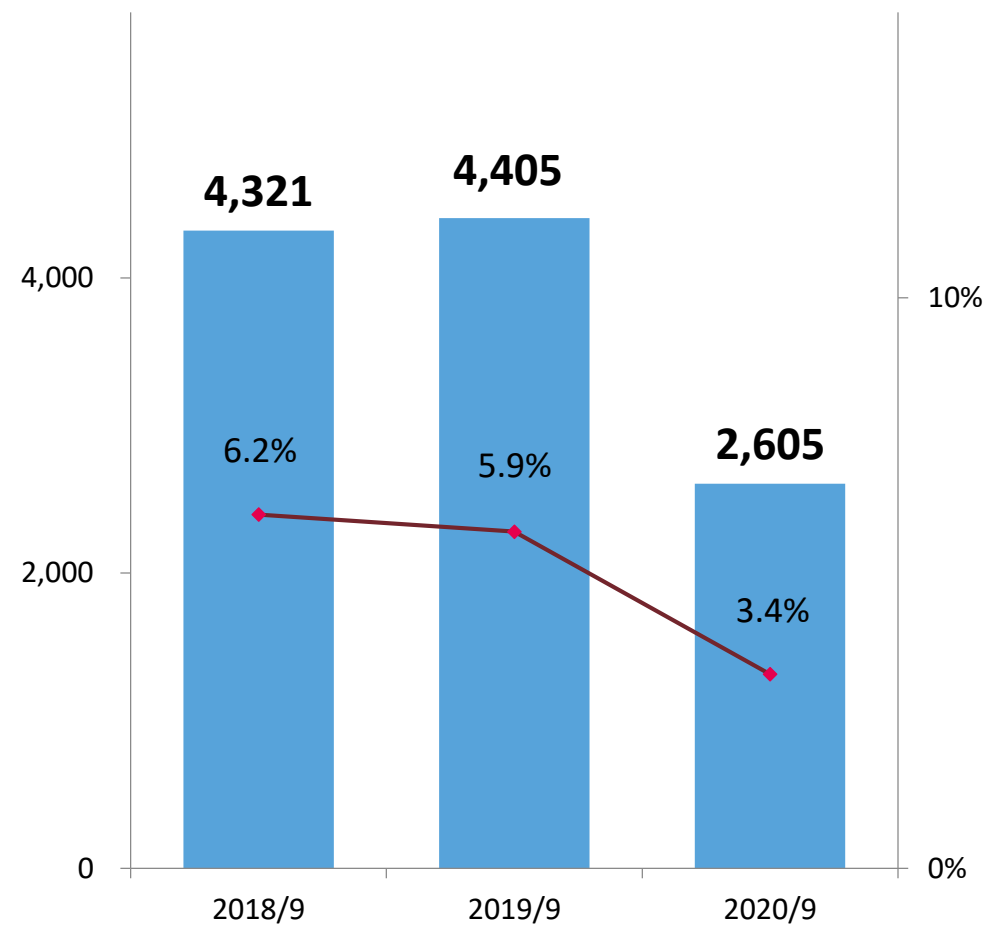
# 連結売上高および営業利益の推移



【売上高 (百万円)】



【営業利益 (百万円)】



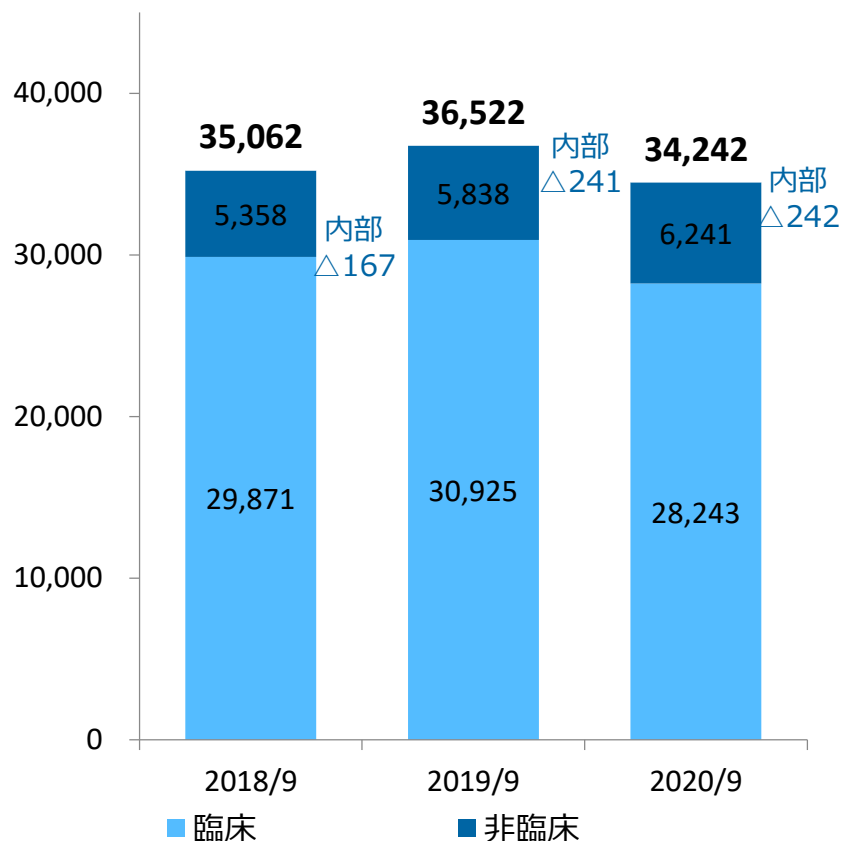
■ CRO事業 ■ CDMO事業 ■ CSO事業 ■ ヘルスケア事業 ■ IPM事業

■ 営業利益 ◆ 営業利益率

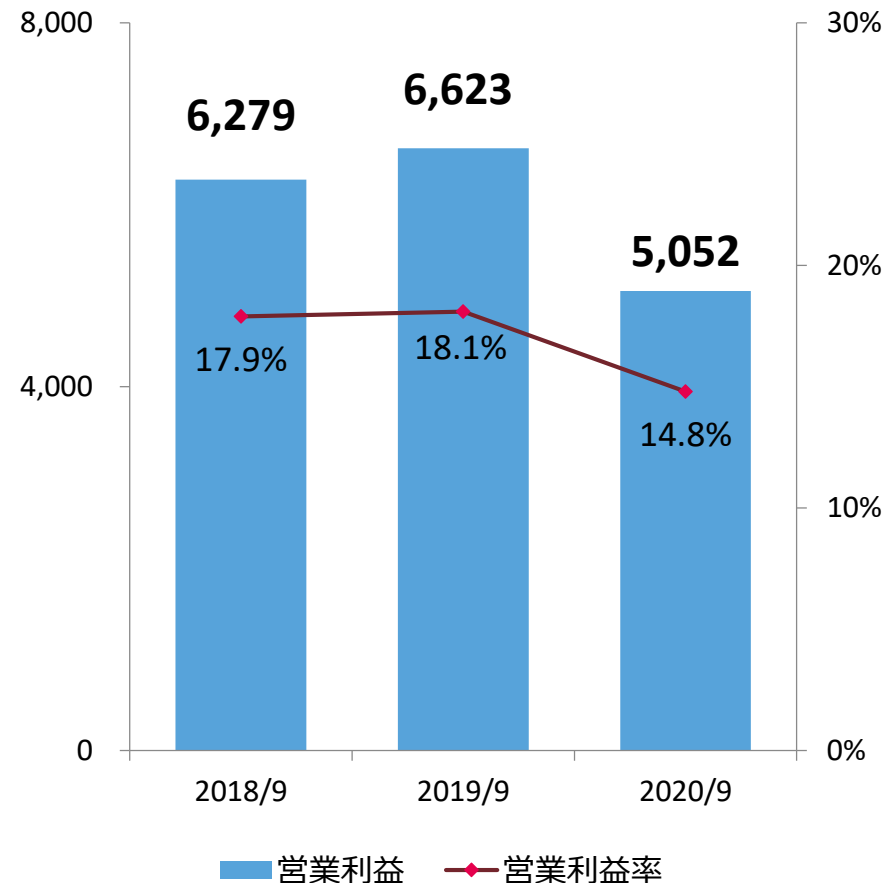
# 医薬品開発支援（CRO）事業



【売上高（百万円）】



【営業利益（百万円）】

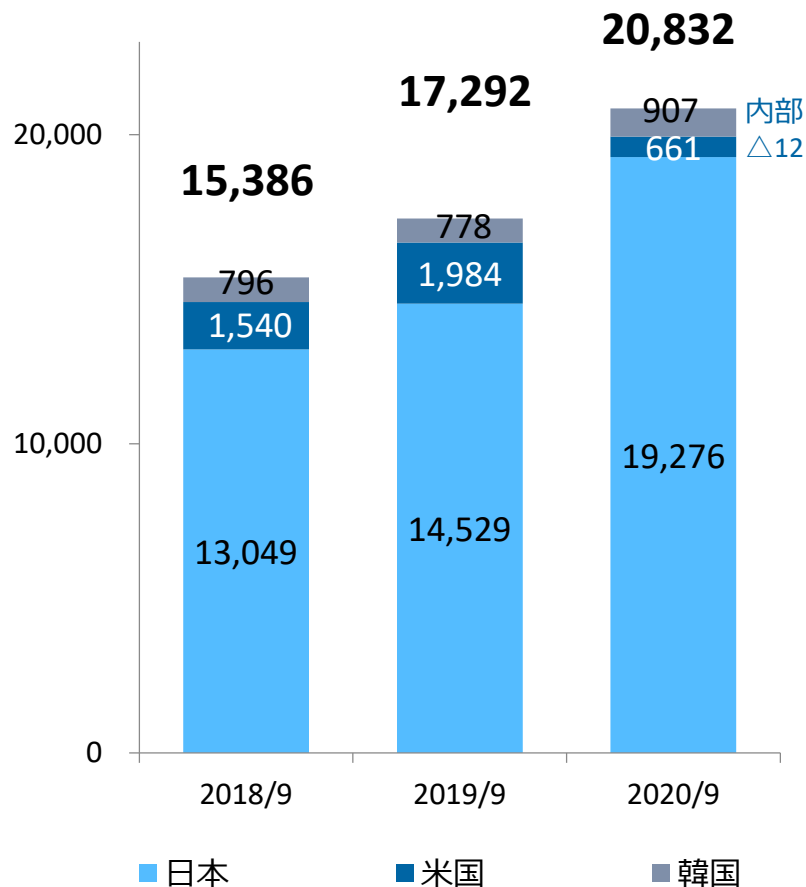


海外企業の日本市場参入や異業種のヘルスケア市場参入支援、高度化する開発ニーズ（バイオ医薬品等）への対応、アジア拠点拡大。PVC案件や、オンライン診療を活用したバーチャル臨床試験、電子お薬手帳を用いた治験プロセス効率化等デジタルを活用した臨床試験の提案促進。売上高は、臨床業務において開発案件の小型化・開発難易度の上昇等の影響、受注獲得の遅れ、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりプロジェクトの開発延期・中止が発生したため、前期を下回る。営業利益も、これに伴い臨床業務における稼働率が低下し前期を下回る。

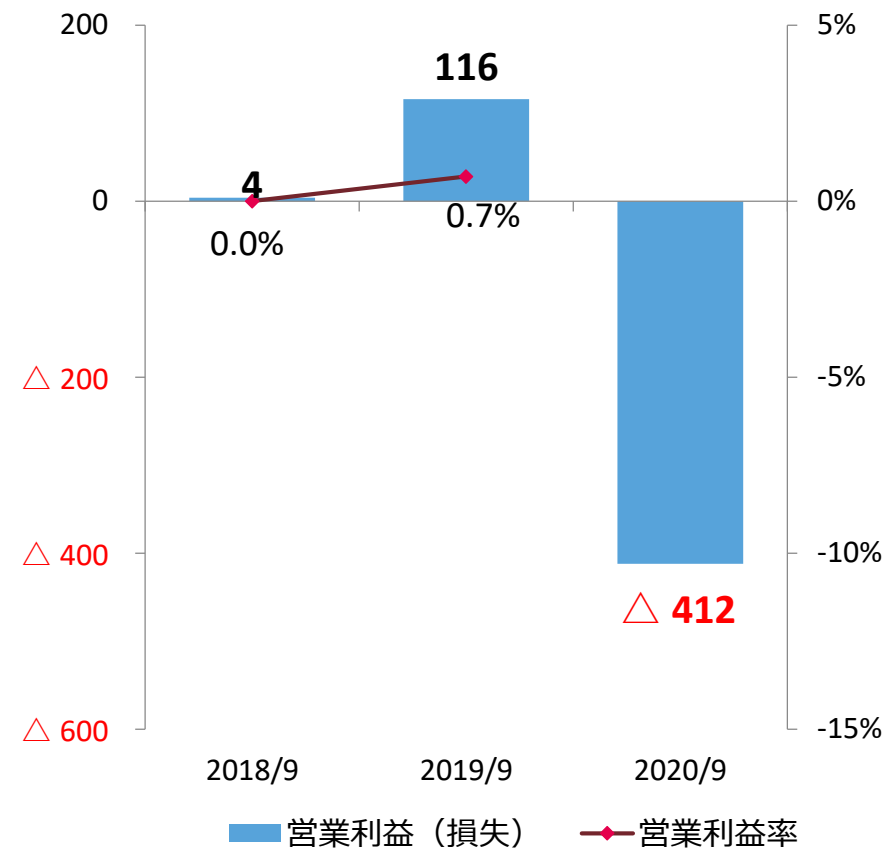
# 医薬品製剤開発・製造支援（CDMO）事業



【売上高（百万円）】



【営業利益（百万円）】



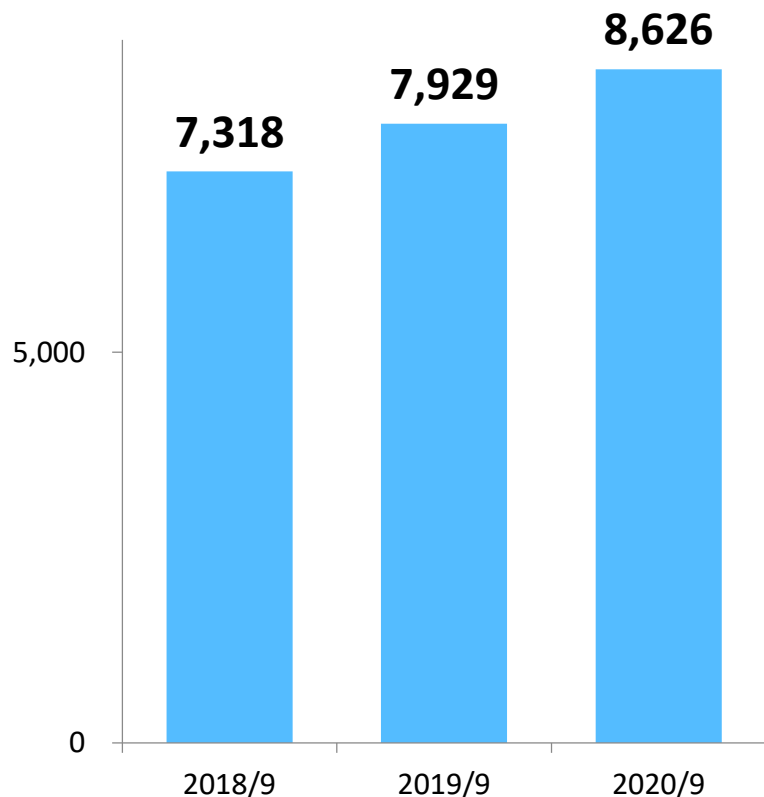
製剤化検討から治験薬製造、商用生産まで、グローバルに展開する医薬品製造のプラットフォームとして、技術力及び品質の更なる向上とローコスト生産体制の進展、戦略的な設備投資を通じた競争力強化を図る。

売上高は、米国において受託生産量の減少があったものの、国内における受託生産量の増加と、2019年6月に事業を開始したシミックCMO西根株式会社の寄与等により、前期を上回る。営業利益は米国における売上高減少の影響が大きく、前期を下回る。

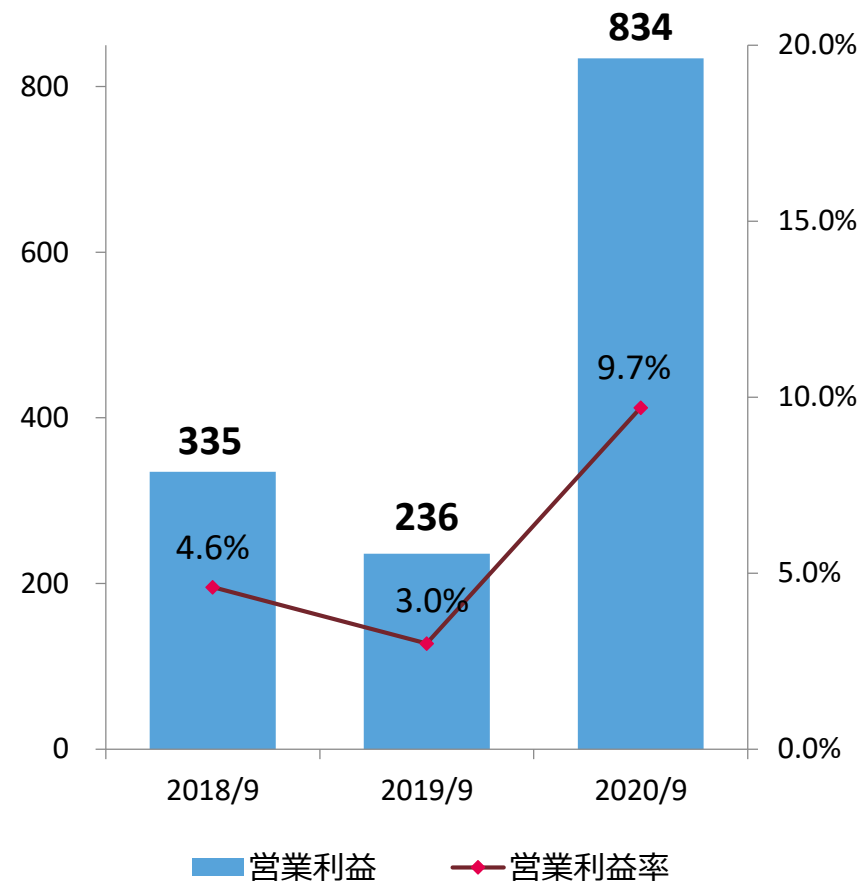
# 医薬品営業支援（CSO）事業



【 売上高（百万円）】



【 営業利益（百万円）】



MR（医薬情報担当者）派遣業務や関連する新たなサービスに加え、メディカルアフェアーズ関連業務の営業活動を強化し、複数のコミュニケーションチャネルと多様なサービスを組み合わせた総合的なソリューションを提供。

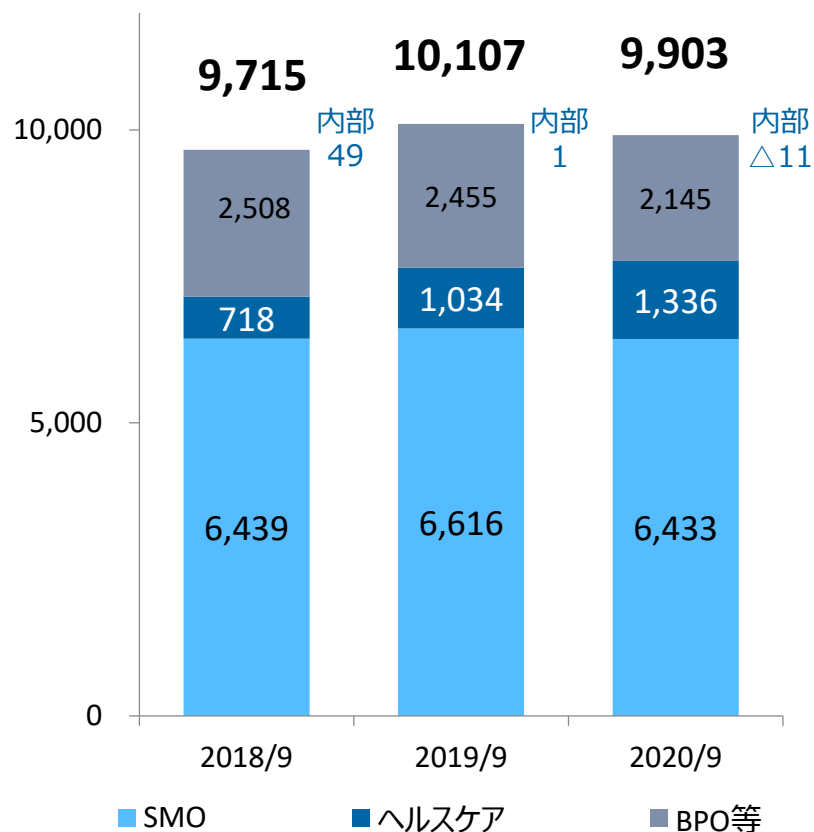
売上高及び営業利益は、前期に獲得したMR派遣業務の案件が堅調に進捗し、稼働率が高い水準で推移したこと等により、前期を上回る。



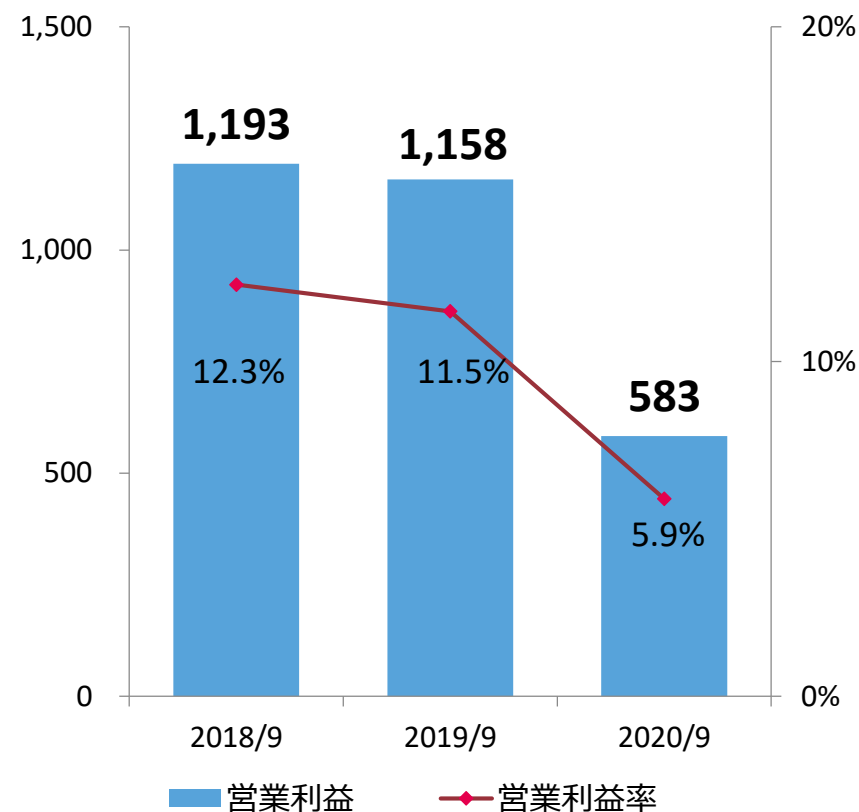
# ヘルスケア事業



【 売上高 (百万円) 】



【 営業利益 (百万円) 】



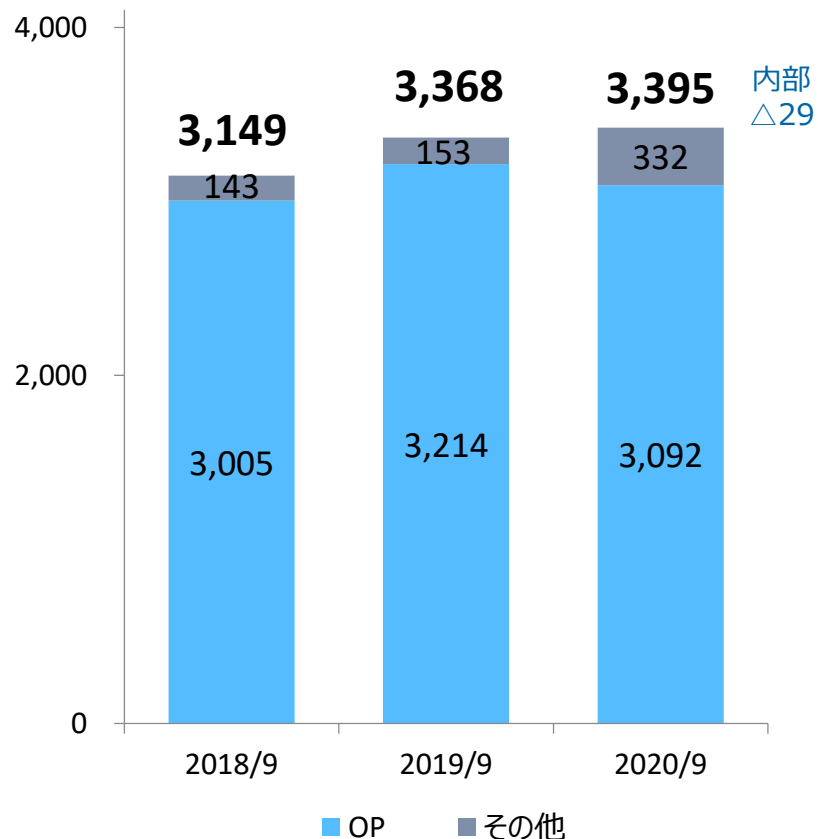
SMO業務におけるがん領域の対応強化とともに新サービスの拡充を進める。また、電子お薬手帳「harmo」事業、自己検査サービス「SelCheck」の展開をはじめ、疾患の早期発見や重症化予防に貢献するビジネスの創出に取り組む。

売上高は、ヘルスケアサービスが伸長したものの、BPO・人材サービス等において業務量の減少があったことから、前期を下回る。営業利益は、BPO・人材サービス等の売上の減少と、新たなヘルスケアビジネス創出のための先行投資により、前期を下回る。

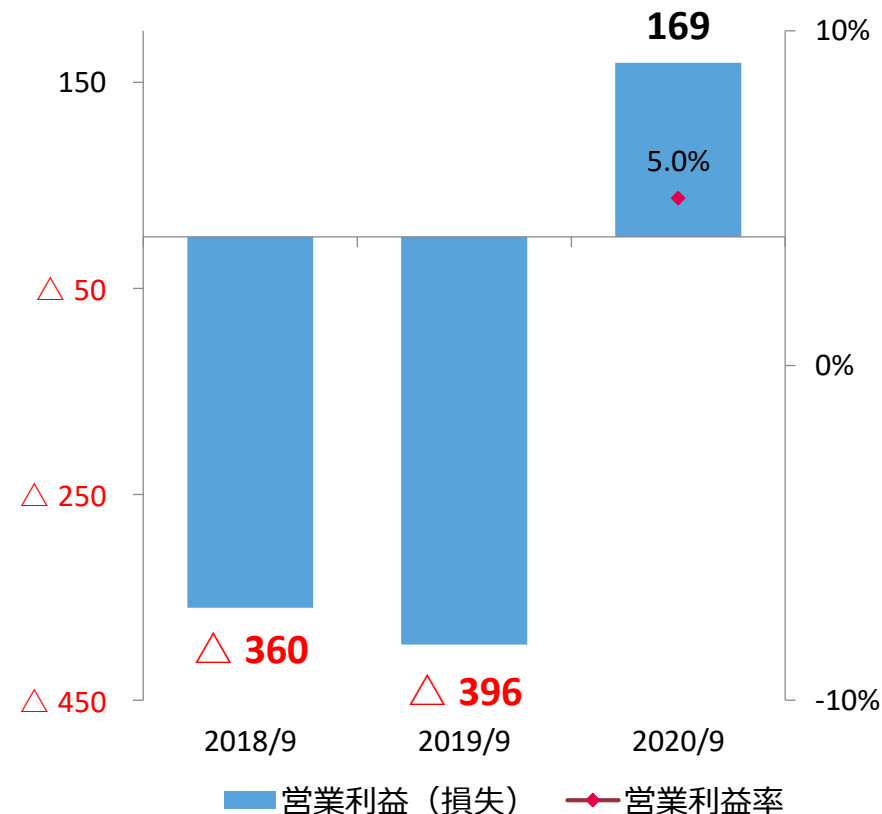
# Innovative Pharma Model (IPM) 事業



【 売上高 (百万円) 】

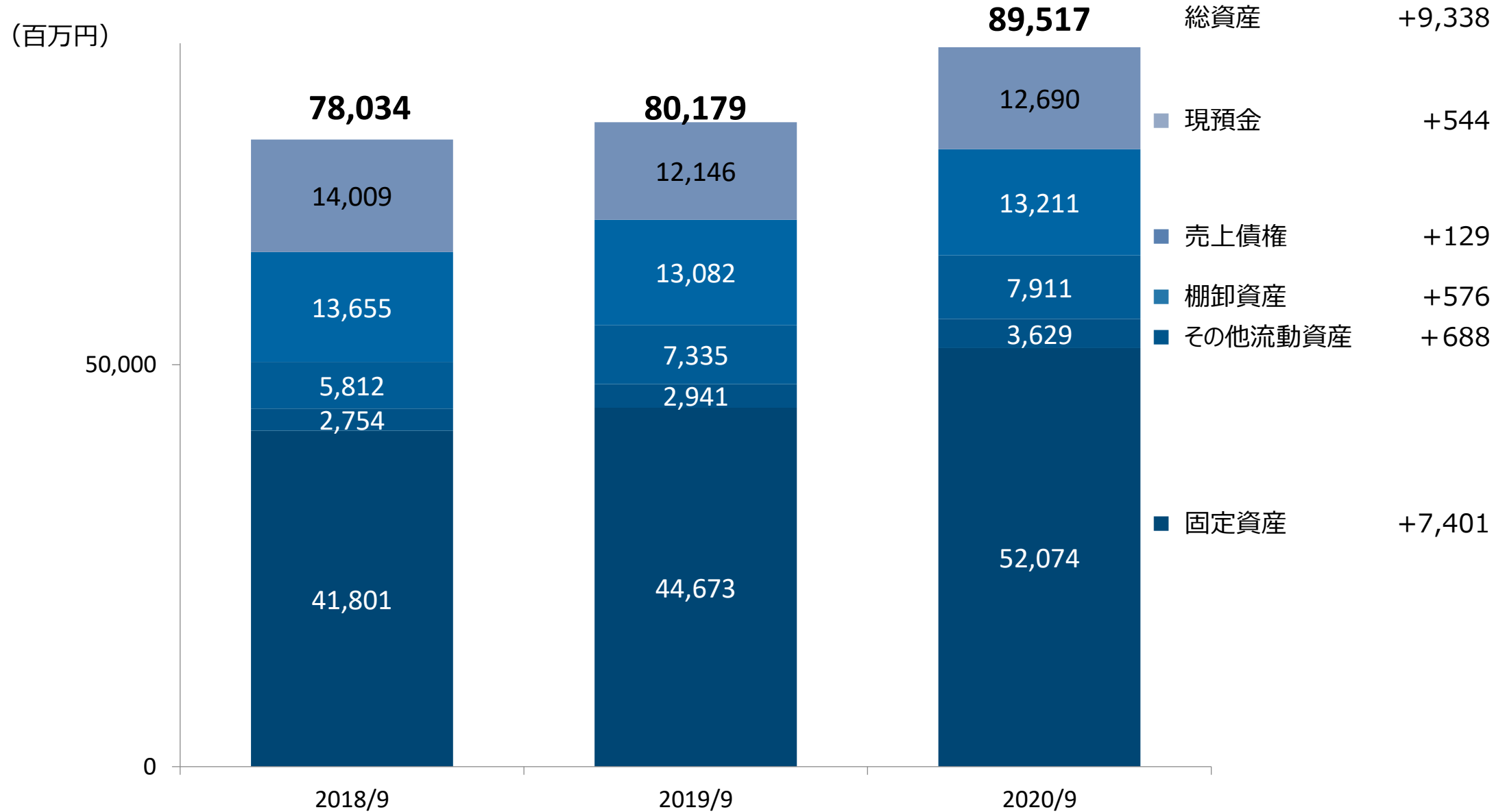


【 営業利益 (百万円) 】



自社開発品を含むオーファンドラッグ等の販売のほか、IPMプラットフォーム提供を通じた海外製薬企業の日本市場進出支援や、製薬企業のビジネスモデル変化に応じた戦略オプションの提供等を行う。特に昨今、海外製薬企業からのIPMプラットフォームの活用ニーズが高まり、複数案件が進捗中。売上高は前期並み。原価低減等の効果により、営業黒字を計上。

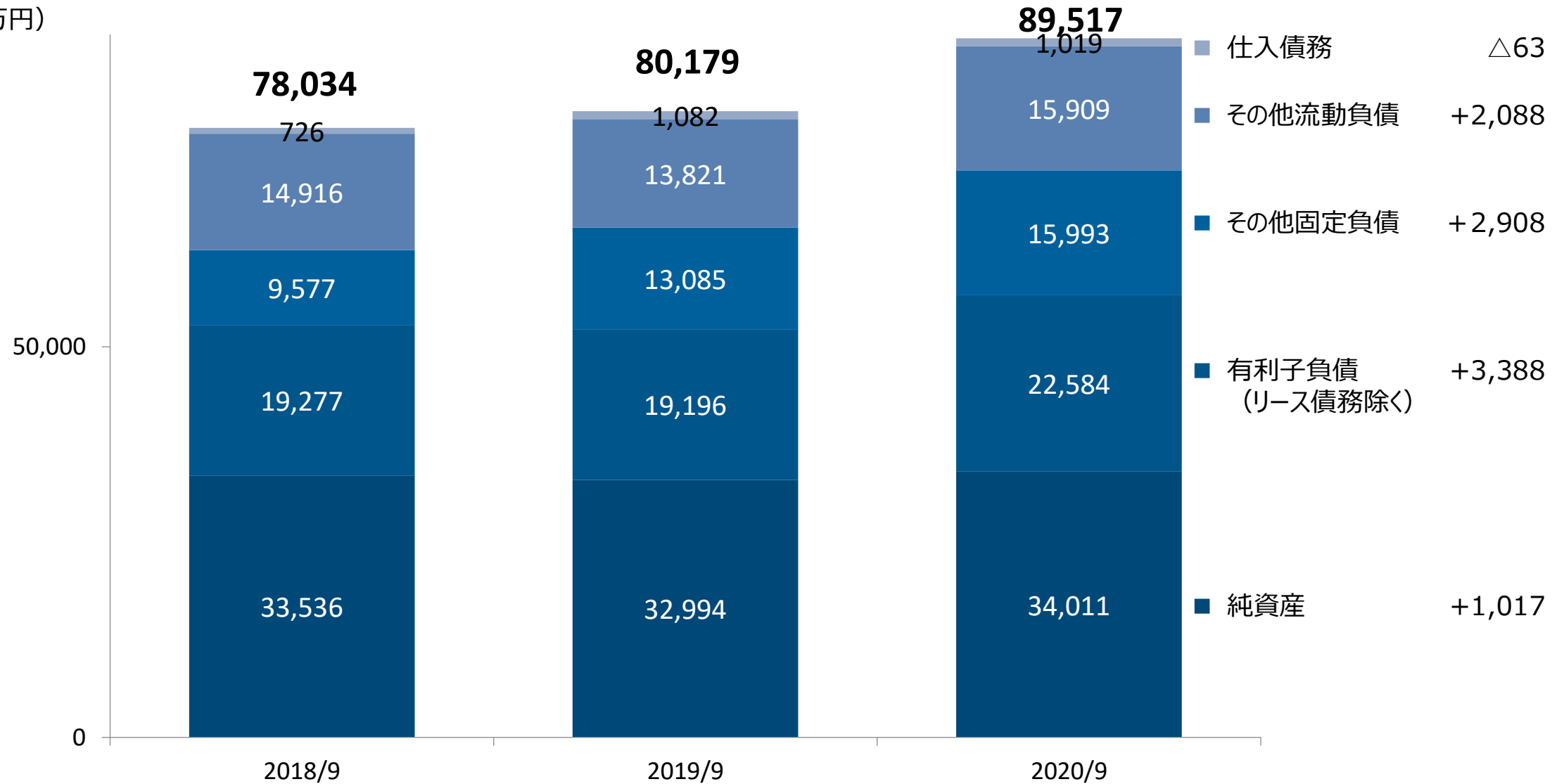
# 連結貸借対照表（資産の部）



# 連結貸借対照表（負債の部・純資産の部）



(百万円)



# キャッシュ・フロー



	2019/9	2020/9	(百万円) 増 減
営業活動によるCF	4,922	6,703	1,781
投資活動によるCF	△4,889	△8,542	△3,653
財務活動によるCF	△1,764	2,354	4,118
現金及び現金同等物に係る換算差額	△101	42	143
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,832	557	2,389
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	△14	△14
現金及び現金同等物の期首残高	13,976	12,144	△1,832
現金及び現金同等物の期末残高	12,144	12,688	544

## 【主な内訳】

### (営業活動によるCF)

- ・税金等調整前当期純利益及び減価償却費による資金増加
- ・法人税等の支払いによる資金減少

### (投資活動によるCF)

- ・CDMO事業における有形固定資産の取得による支出

### (財務活動によるCF)

- ・新型コロナウイルス感染症の影響を見据えた資金確保のための金融機関からの借入金等の増加と配当金の支払いによる支出等

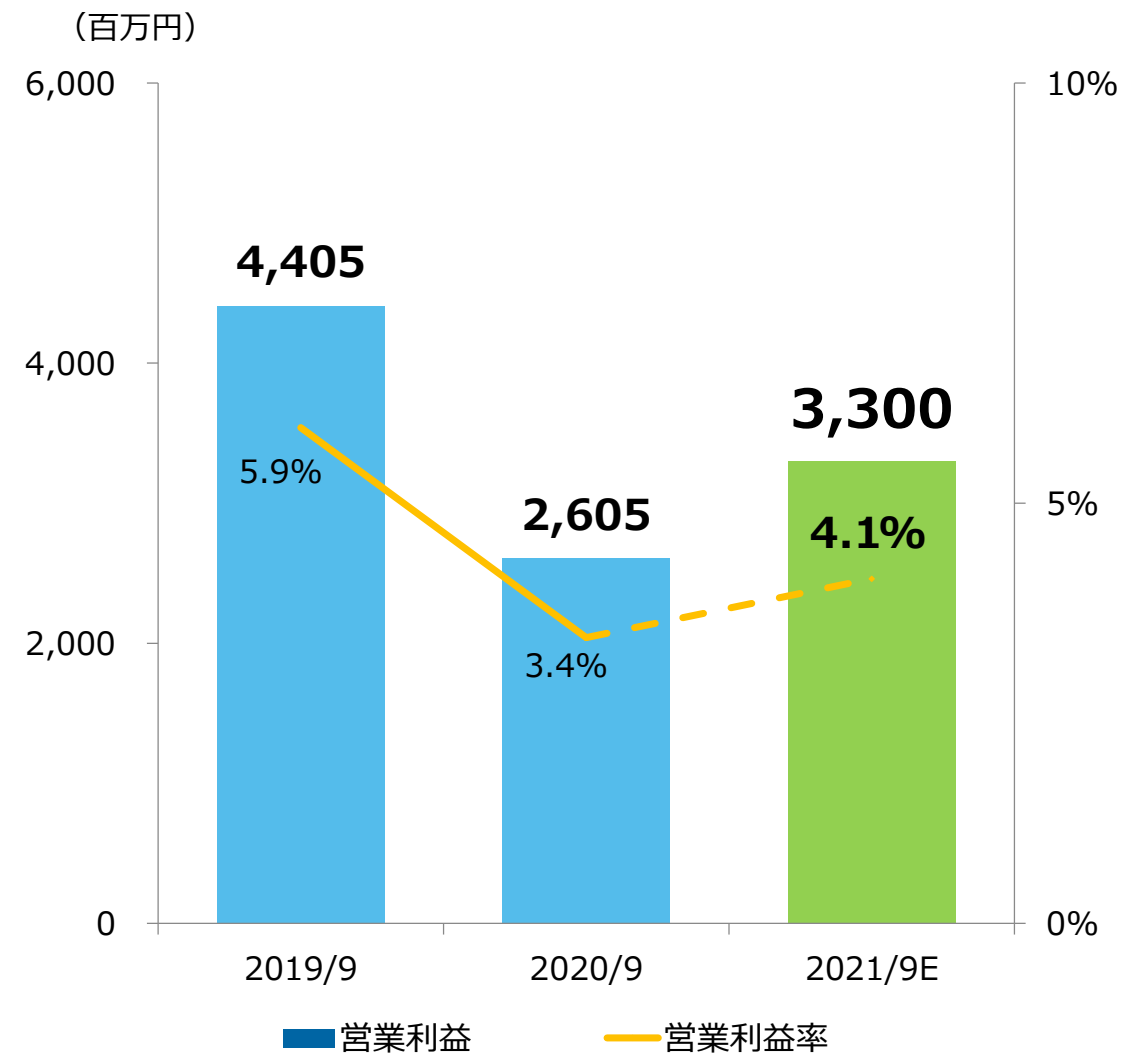


# 2021年9月期 業績見通し

# 2021年9月期 通期見通し



	2020/9 実績 (百万円)	2021/9 見通し (百万円)	増減率 (%)
売上高	76,098	<b>80,000</b>	5.1
営業利益	2,605	<b>3,300</b>	26.6
経常利益	2,867	<b>3,100</b>	8.1
親会社株主に帰属する当期純利益	1,505	<b>1,650</b>	9.6
1株当たり当期純利益	83円27銭	<b>91円21銭</b>	



# 2021年9月期 通期見通し (セグメント別)




		2020/9実績 (百万円)	2021/9見通し (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
C R O 事業	売上高	34,242	36,100	1,857	5.4
	営業利益	5,052	5,550	498	9.9
C D M O 事業	売上高	20,832	22,100	1,268	6.1
	営業利益	△412	100	513	-
C S O 事業	売上高	8,626	8,500	△126	△1.5
	営業利益	834	650	△185	△22.2
ヘルスケア事業	売上高	9,903	10,750	846	8.5
	営業利益	583	700	116	20.0
I P M 事業	売上高	3,395	3,450	55	1.6
	営業利益	169	0	△169	-
調 整 額	売上高	△901	△900	1	-
	営業利益	△3,621	△3,700	△79	-
合 計	売上高	76,098	80,000	3,901	5.1
	営業利益	2,605	3,300	694	26.6





# 事業の状況



代表取締役社長執行役員COO  
大石 圭子



# 中期計画 (FY2019-21)

## ■ 基本方針

「Project Phoenix 3.0」ヘルスケアバリュークリエイターへ

### ▶ 重点取組事項

PVCモデルに加え、  
製造販売業の許認可を組み合わせた  
IPMソリューションビジネスの加速

エリア競争力の強化と  
グローバル化の促進

ヘルスケアビジネスの創出

### ▶ 定量目標

	FY2021	
	目標	成長率
売上高	855 億円	7.0 %
営業利益	68 億円	16.6 %
営業利益率	8.0 %	
ROE	12%以上	



# 中期計画とFY21見通し

- 中期計画の目標値に対し、未達となる見通し
- 薬価制度・承認制度の変更、治験環境の変化、医薬品開発トレンドの変化、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響

	FY2020	FY2021			
	実績	中計目標	開示計画	差異	
売上高	76,098	855 億円	800億円	△55億円	△6%
営業利益	2,605	68 億円	33億円	△35億円	△51%
営業利益率	3.4 %	8.0 %	4.1 %	△3.9%	
ROE		12%以上	7%		



- ・ 医療機関への訪問制限
- ・ 臨床試験や安全性情報等のデータ回収遅れ
- ・ 新規プロジェクトの開発延期・中止



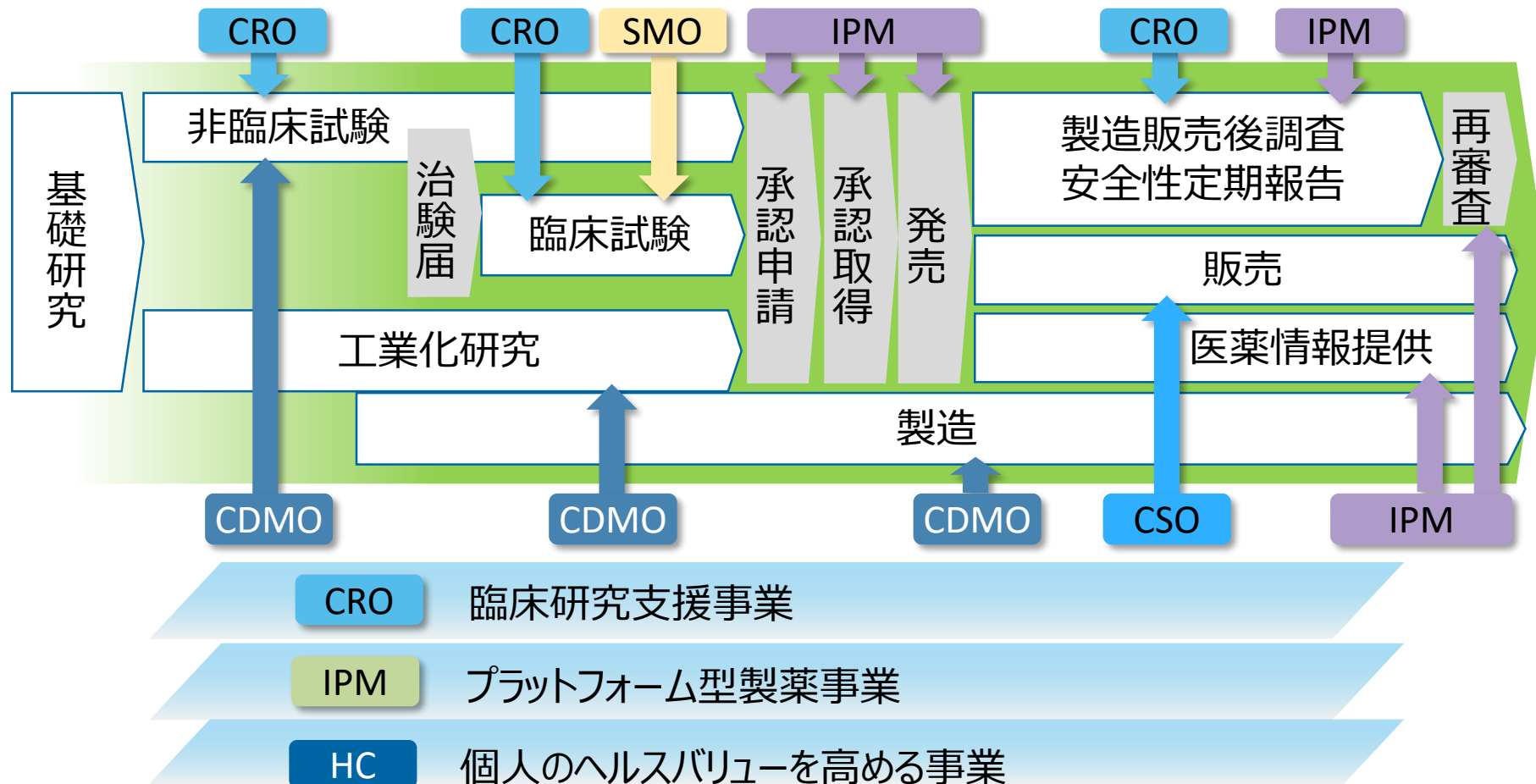
- ・ **コロナ治療薬の開発や臨床研究案件を受託  
(アビガンの治験及び製造を受託)**
- ・ 延期となっていた試験が再開
- ・ 受注は回復傾向
- ・ 一部の医療機関は訪問制限を継続



# 業績回復への取り組み



## マーケットアクセスのスピード最大化 —PVCモデルを活かした早期の上市支援—



# CRO事業の施策



## ●スピード最大化

- ✓ 非臨床から市販後までの一気通貫体制
- ✓ ニューノーマル時代の新たな治験様式の導入  
(デジタルを活用した業務効率の向上)
- ✓ 成長分野・専門性のある分野での更なる競争力強化



【研究所(非臨床)】

バイオリサーチセンター  
(山梨県)



CMIC, INC. US Lab

## ●アジア・オセアニア展開の加速

- ✓ 現地法人設立 (2019年オーストラリア、2020年タイ)
- ✓ 医薬品及び医療機器の成長市場である  
オセアニア地域の事業推進

## ●アライアンス・パートナーシップの積極展開





## ● 大型案件の着実な立ち上げ

- ✓ 受託済案件のFY22生産開始準備

## ● 米国の新施設・生産ライン立ち上げ

- ✓ アウトソーシングニーズの高まりに対応

## ● 技術力・品質の向上



新製造施設（米国）

### 国内主要CMOの一角

- 長期収載品中心の受託
- 生産性と効率性の追求

### 国内CDMOの

### リーディングカンパニー

- 製剤開発技術・高薬理

- 活性剤製造による差別化

### グローバルに展開するCDMO

へ

- 高付加価値製剤

- バイオCDMO領域への挑戦

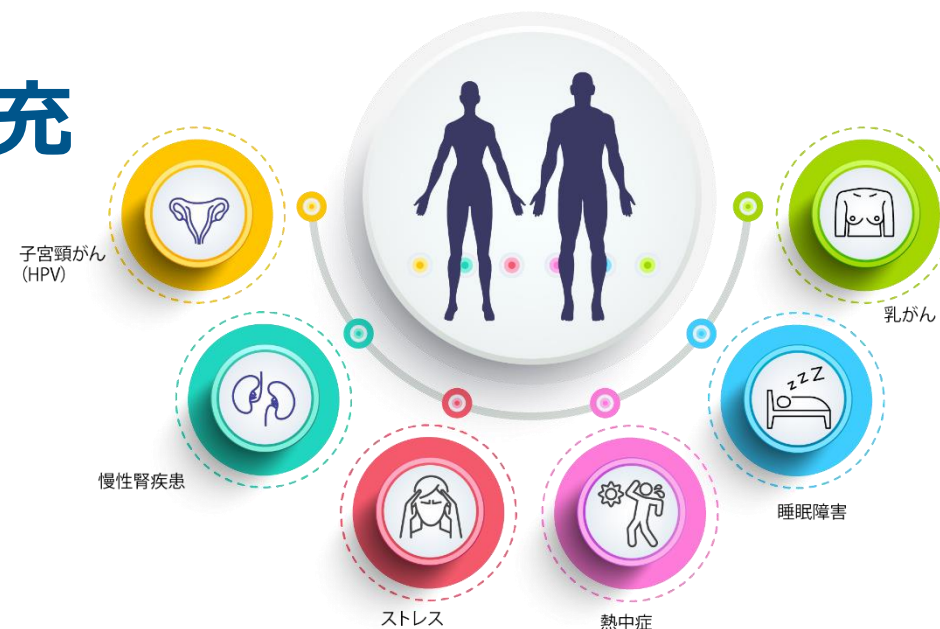


## ●「harmo」のPHR\*活用

- ✓ 服薬アドヒアランスサービス
- ✓ 医療・健康関連情報の提供
- ✓ 予防接種管理に関する社会実験

## ●自己検査サービス「Selcheck®」の拡充


- ✓ 子宮頸がん、他の領域にも拡充





# Healthcare Revolution 2.0

## —新規ヘルスケアビジネス—



代表取締役会長執行役員CEO  
中村 和男



2014年10月より

## Project Phoenixをスタート

収益の伴った成長を実現するために

### Phoenix 1.0 (2014年10月–2016年3月)

- ▶ 企業文化の確立 (CMIC'S CREED)
- ▶ 働き方改革

### Phoenix 2.0 (2016年4月–2018年3月)

- ▶ アジャイル経営に向けた組織再編、人財教育
- ▶ PVC機能を活用したソリューション提供
- ▶ Innovative Pharma Modelのプラットフォーム提供を開始

### Phoenix 3.0 (2018年4月–)

- ▶ Healthcare Revolution 1.0 開始
- ▶ harmo事業の開始



# Healthcare Revolution 2.0

2020年7月 - 2022年6月

# Healthcare Revolution 2.0



1



ファーマモデルから  
Innovative Healthcare  
Pharma Modelに変換

**harmo**

(Personalized Healthcare e-System)

- ・ファーマのバリューチェーン  
サプライチェーン変革  
(マーケットアクセスのスピード最大化)

2



ヘルスケアシステムの改革  
(CMIC CREEDの実現)

**CMIC Healthcare Station**立ち上げ

- ・データ活用による健康管理/未病、  
予防、疾病管理などのサービス提供

3



ヘルスケア事業における  
人材バリューの創出

- ・ヘルスケアプロフェッショナル  
人材の育成



# harmo<sup>®</sup>の現状

Personalized Healthcare e-System

# 情報配信サービスは他社との協業により100万人に配信可能



アクセス JP | EN

シミックグループについて サービス案内 ニュース&イベント IR情報 採用情報 お問い合わせ

2020年6月10日

シミックホールディングス株式会社  
株式会社ファルモ

## harmo × PHARUMO 電子お薬手帳事業で協業を開始 —ユーザ80万人の電子お薬手帳プラットフォーム誕生へ—

シミックホールディングス株式会社の100%子会社であるシミックヘルスケア・インスティテュート株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員：三嶽 秋久、以下「シミックヘルスケア」）は、株式会社ファルモ（本社：東京都新宿区、代表取締役CEO：広井 嘉栄、以下「ファルモ」）と、電子お薬手帳の新たな価値の創造を目指し、本年6月より協業を開始しました。シミックヘルスケアの電子お薬手帳「harmo（ハルモ）」とファルモが提供する電子お薬手帳の連携により、80万人規模の電子お薬手帳プラットフォームの誕生へ向け、今後両社の協業により、さらなるプラットフォームの拡大を目指していきます。

2012年9月の「電子版お薬手帳データフォーマット仕様書（JAHIS）」公開以降、さまざまな電子お薬手帳サービスが登場しています。電子お薬手帳は、患者さん自身の処方内容の把握に加え、近年では地域医療情報連携ネットワークやかかりつけ薬剤師・薬局の推進等、医療において重要な役割を担うツールとして発展し続けています。

アクセス JP | EN

シミックグループについて サービス案内 ニュース&イベント IR情報 採用情報 お問い合わせ

2020年7月9日

シミックホールディングス株式会社

## harmo × ポケットファーマシー 電子お薬手帳事業で協業を開始 —ユーザ100万人の電子お薬手帳を活用した共通サービス誕生へ—

シミックホールディングス株式会社の100%子会社であるシミックヘルスケア・インスティテュート株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員：三嶽 秋久、以下「シミックヘルスケア」）は、ポケットファーマシー販売株式会社（本社：東京都中野区、代表取締役 島崎 肇、以下「ポケットファーマシー社」）と、電子お薬手帳のさらなる価値の創出を目指し、本年7月より協業を開始しました。

シミックヘルスケアが提供する電子お薬手帳「harmo（ハルモ）」は、ポケットファーマシー社の電子お薬手帳「ポケットファーマシー」との本協業および本年6月より協業を開始した株式会社ファルモ提供の電子お薬手帳との連携により、100万人規模の電子お薬手帳を活用した共通サービスの誕生へ向け、事業を展開してまいります。

今夏頃より、「harmo」の情報配信機能を基盤に、3社の電子お薬手帳ユーザの皆さまに適切な医療・健康関連情報の提供サービスやアンケートの実施等を協同で開始する予定です。

昨今の情勢により、オンライン診療等の医療現場におけるデジタル化が加速化する中、個々人の医療・健康情報をデジタル情報としてまとめ、多種多様なデジタル機器と連携・活用することのできるPHR

# 滋賀県内の薬局利用実績92.1%を達成



2020年10月2日

報道関係各位

シミックホールディングス株式会社  
一般社団法人 滋賀県薬剤師会

電子お薬手帳 harmo、滋賀県内のユーザー数 10 万人突破  
—滋賀県内における薬局での利用実績 92.1%を達成—

シミックホールディングス株式会社の100%子会社であるシミックヘルスケア・インステイテュート株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員：三嶽 秋久、以下「シミックヘルスケア」）は、滋賀県において電子お薬手帳「harmo（ハルモ）」のユーザー数<sup>※1</sup>が10万人を超えたことをお知らせします。また、本年8月時点において、滋賀県内の薬局（608店舗）でのharmoの利用実績<sup>※2</sup>は92.1%を達成しました。



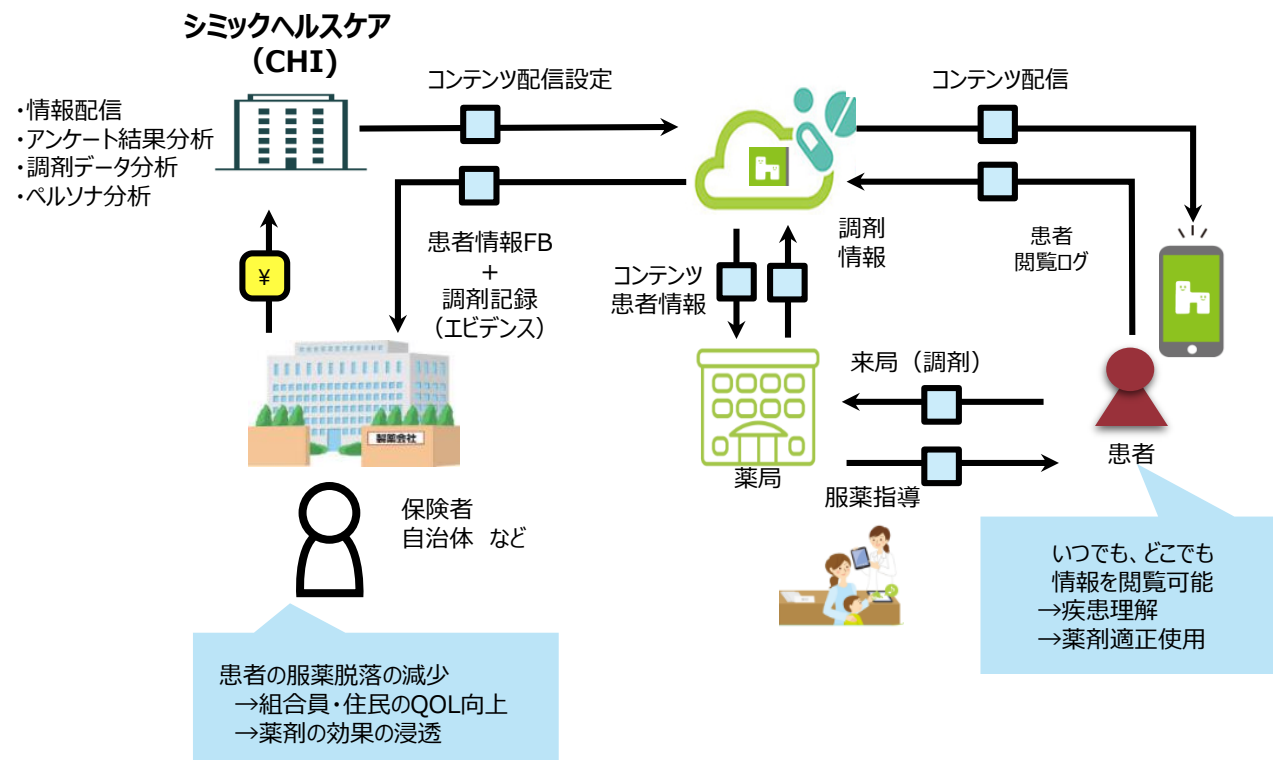
# 東京都「次世代ウェルネスソリューションの構築事業」採択



## 「電子お薬手帳データに基づいた患者への情報配信による服薬アドヒアランス向上」

### 実証事業の概略図

#### 電子お薬手帳データを活用した患者向け情報配信サービス事業



- 調剤データを用いた患者の行動変容を促すサービスの事業化検討
- 脳卒中患者に対する疾患啓発をテーマに事業化に向けた効果検証



## harmoアプリケーションにて情報公開を行う政府機関ウェブサイト

- 首相官邸：新型コロナウイルスお役立ち情報
- 厚生労働省：新型コロナウイルスに関するQ&A（一般の方向け）
- 観光庁：Multilingual Visitor Hotline
- 法務省：外国人生活支援ポータルサイト（医療）



# harmo

## ワクチン管理システム

# harmoワクチン管理システム

- harmoの技術を基盤とし、個人が「ワクチン接種情報」を管理できるしくみ
- 接種時のチェックによる安全性向上
- 個別化された通知を通じて予防医療に貢献していく



**チェック①（理論チェック）**  
患者さんのICカードを  
医療機関のタブレットにタッチ

Version 0.5.0debug 69% 2020/9/29 (火) 16:51

本日接種可否

患者氏名: 春茂 花子 生年月日: 2020年(令和2年)1月15日 0歳 8か月 14日

予防接種の種類	接種可否	接種済回数	残り回数	接種可能日
Hib	—	4回	完了	—
小児肺炎球菌	×	3回	1回	2021年01月14日 ~ 0歳 11か月 29日
B型肝炎	○	2回	1回	—
口タ1価	—	2回	完了	—
口タ5価	×	1回	2回	—
DPT-IPV	○	1回	3回	—

過去情報から現時点のワクチン接種可否をチェック



**チェック②（現物チェック）**  
ワクチン箱に印字された  
バーコード（GS1コード）読み取り

Version 0.5.0debug 71% 2020/9/29 (火) 17:26

本日接種実施

患者氏名: 春茂 花子 生年月日: 2020年(令和2年)1月15日 0歳 8か月 14日

予防接種の種類	接種可否	接種量	接種部位	支払い
小児肺炎球菌 (4回目) プレボナー13水性懸濁注	×	0.5mL	○ 左上腕 ○ その他 ● 右上腕 ● 左上腕	前回 ● 公費 ○ 自費 ○ 特別公費
BCG 乾燥BCGワクチン	×	最終有効年月日を過ぎています。別除後に、新しいワクチンをスキャンしてください。		
DPT-IPV (2回目) クアトロバック...混合ワクチン	○	0.5mL	● 左上腕 ○ その他 ○ 右上腕	前回 ○ 公費 ○ 自費 ○ 特別公費
B型肝炎 (3回目) ヒームグン注0.5... (野母由来)	△	0.25mL (年齢に基づく)	● 左上腕 ○ その他 ○ 右上腕	前回 ● 公費 ○ 自費 ○ 特別公費

接種済

接種完了

ワクチンの有効期限、LOT番号をチェック



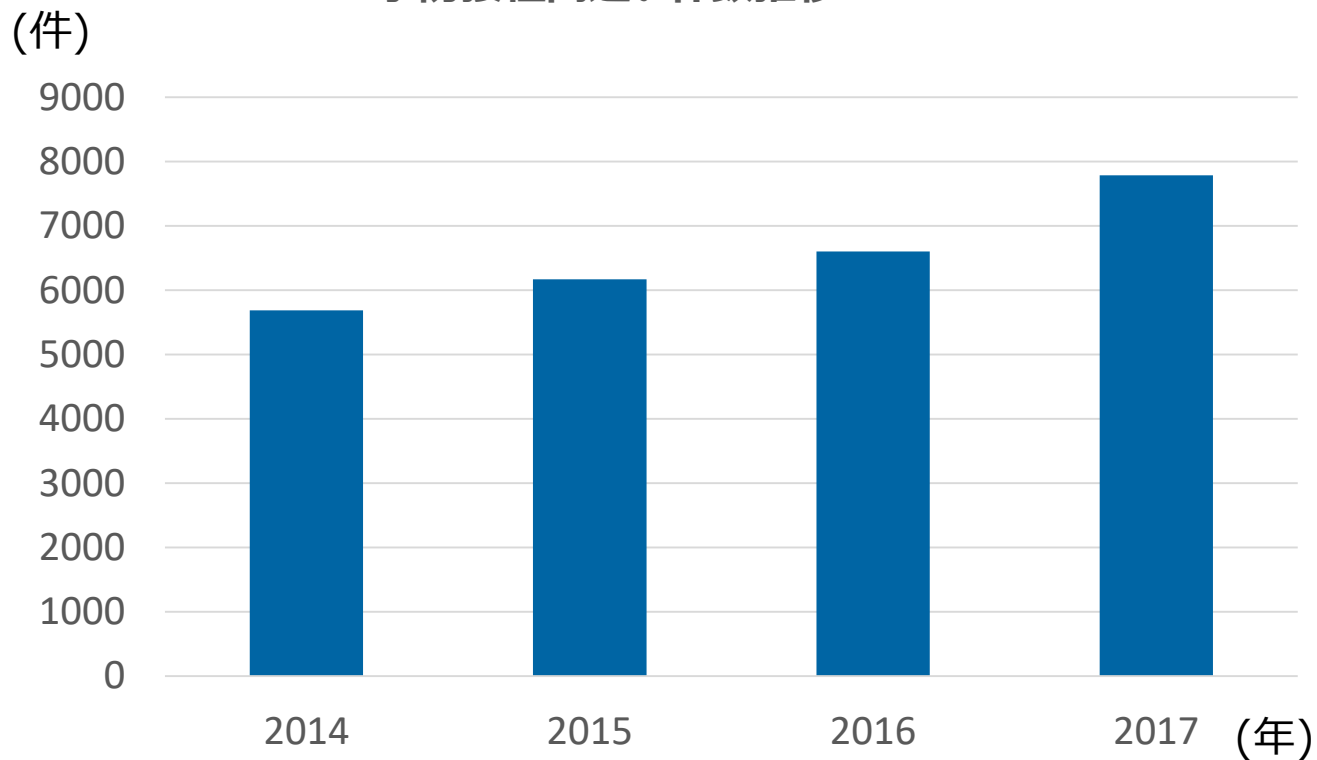
接種・登録

# harmoワクチン管理システム

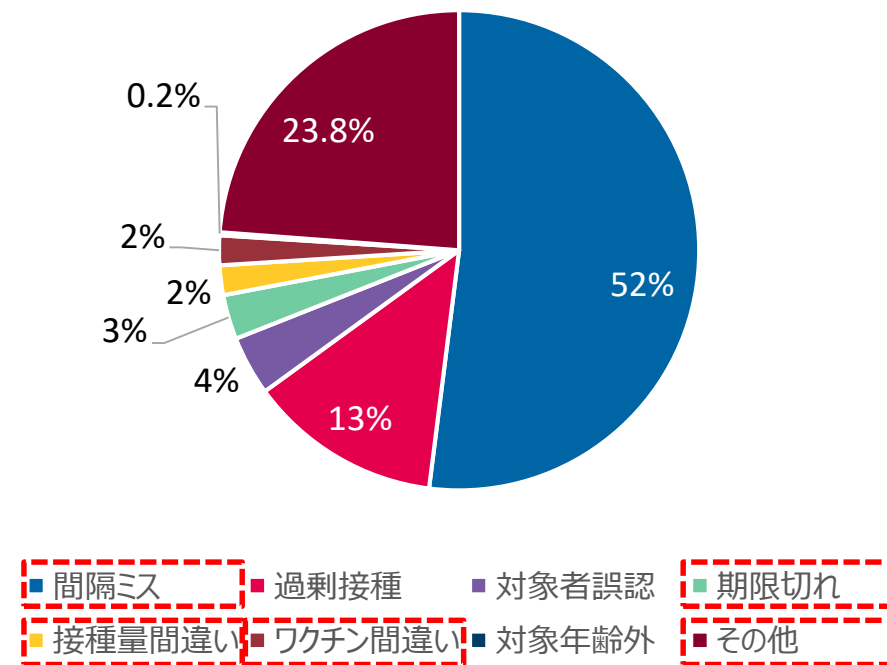


- 直近においても接種間違いに対する早急な対応が求められている
- 本システムを利用することで予防接種間違いを**50～70%低減**可能と推定

### 予防接種間違い件数推移



### 予防接種間違いの種類

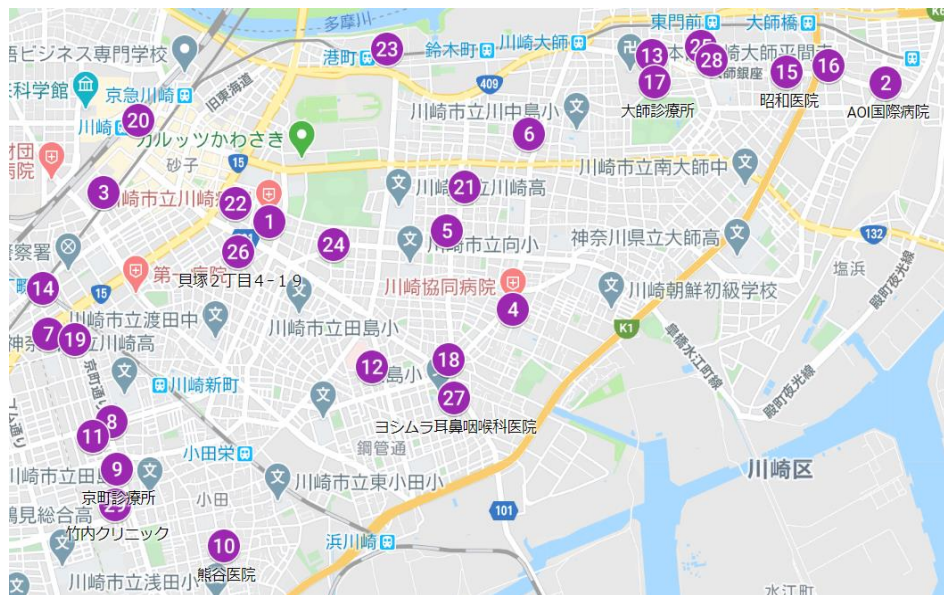


赤枠：本システムで低減することができる過誤

\*出典：第32回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会  
資料5 2019年8月7日

# harmoワクチン管理システム

- 現在は神奈川県川崎市川崎区で慶應大学と社会実験を実施中
- 将来的にはコロナワクチン等の新しいワクチン管理にも対応し全国へ展開予定



**参加医療機関：**  
川崎区の29医療機関

**参加者：**  
川崎市川崎区在住の  
ワクチン未接種の乳児

**実施期間：**  
2020/6/1~2023/3/31

# harmoでできること



個人



服薬（履歴）管理  
健康データ管理  
飲み忘れ防止等、情報入手

データ利活用  
アドヒアランス  
PMS含むマーケティング



製薬企業



薬局



業務範囲拡張  
業務効率改善  
服薬情報の一元的・継続的把握

医療・介護費の最適化  
ワクチン接種など管理  
ヘルスケアシステム改革

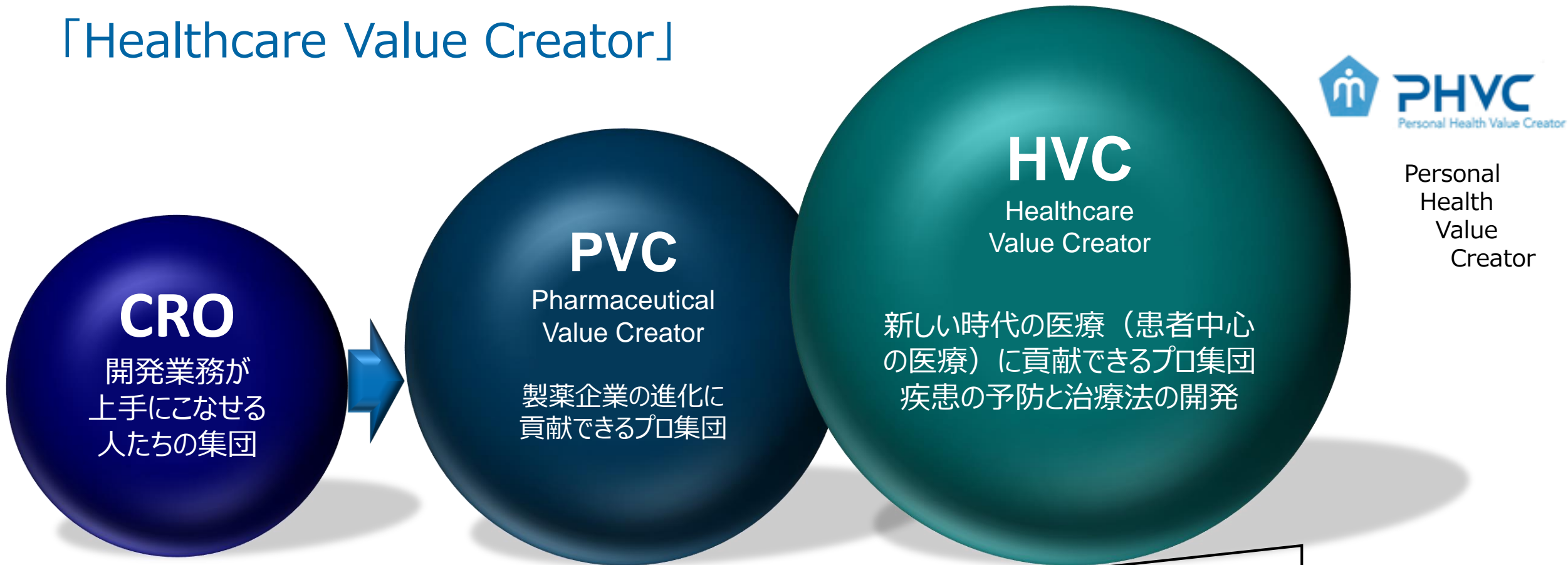


自治体



# シミックが目指すもの：CROからPVC、HVCへ

2005年から当社が提唱している  
「Healthcare Value Creator」



企業価値 = 健全な利益





## 本資料お取り扱い上のご注意

本資料で記述されている将来予測等は、当社が現在得ている情報をもとになされた当社の判断に基づくものであり、既知あるいは未知のリスクや不確実な要素が含まれています。実際の結果は、様々な要因によりこれら将来に関する記述内容とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。